

COOKIE

中学校三年

僕の母の曾祖父は、第二次世界大戦でフィリピンに兵隊として派遣され、三十三歳という若さで戦死した。遺品も遺骨も戦地から帰ってこず、母の曾祖母は幼い二人の子供を抱きしめ、泣き崩れたそうだった。その後下の子は、十分栄養を摂っていなかったため、病死した。

また、父の祖父は、理容の技術があり、上官の散髪をするため、戦地には行けなかったそうだった。僕の身近な人の戦争体験を聞くだけでもいろいろなことがある、その時代に生きただけで、辛い経験をしている。今の日常からは想像するのが難しいが、僕の何世代か前は、命をかけて国や自分の愛する家族を守るのが当たり前の世の中だったそうだった。

日本は戦争の記憶が風化されつつあるが、世界のどこかでは、戦争や紛争が起こっている。

僕の好きな歌で、「COOKIE」という歌がある。その中で、「正義や真実は偽られ語られる、人の命がたやすくもて遊ばれている」という歌詞がある。最

近では、ロシアがウクライナに侵攻している問題が発生している。これは本当に起こっている事なのか、と信じたくない出来事が毎日報道されている。しかしロシア国内では、国民に本当の情報を報道せず、自分たちが正しいと思わせている。

僕は、人間本来の強さや愛の力で、人それぞれが幸せと感じ、どんな問題でも話し合いで解決する平和な世の中が作れると思っていた。しかし現実には、誰かの幸せによって別の誰かが不幸になってしまう。武力によって競い合い、奪い合い、勝ち取っていく間違った考え方がまだ世界で通用することに憤りを感じている。

「COOKIE」は、約三十年前に作られた歌である。今の状況と同じようなことを歌詞に書いているのは、今も昔も人間は変わらないのだな、と思った。

日本は戦争を経験しているが、実体験を語れる人は数えるほどしかない。近い将来一人もいなくなるだろう。残された私たちは「戦争をしてはいけない」と後生に伝える役割がある。デジタル機器が発達した現代、フェイクニュースの存在を認識し、正しい情報を見極める力も必要となる。僕たちはそんな

な時代を生き、情報を選別しなければならないが、ありふれた生活を守ることも大切だと思う。「C O O K I E」の歌詞は、「クッキーを焼いてくれ 温かいミルクもいれてくれ」と締めくくられている。どんな時代になっても、そんな日常を続ける努力を忘れてはいけないと思う。